



教師の力量の高まりが 子供の夢を育む！

地域連携教育の必要性や価値を実感し、二学期からの教育実践に生かすために、岩国市教育委員会主催の研修講座を市教育センターで開催しました。対象は、採用2・3年目の教職員を中心にした市内の小中学校の教職員です。研修内容は、地域連携教育とは何か（目的や意義）、地域連携教育とは何をするのか（内容）、地域連携教育はどのように進めるのか（方法）などです。

講義ばかりではなく、各地域・学校での実践を活用した演習も交え、自分の考えや思いを出しながら、理解を深め、実践意欲を高めました。本号では、その様子を紹介します。



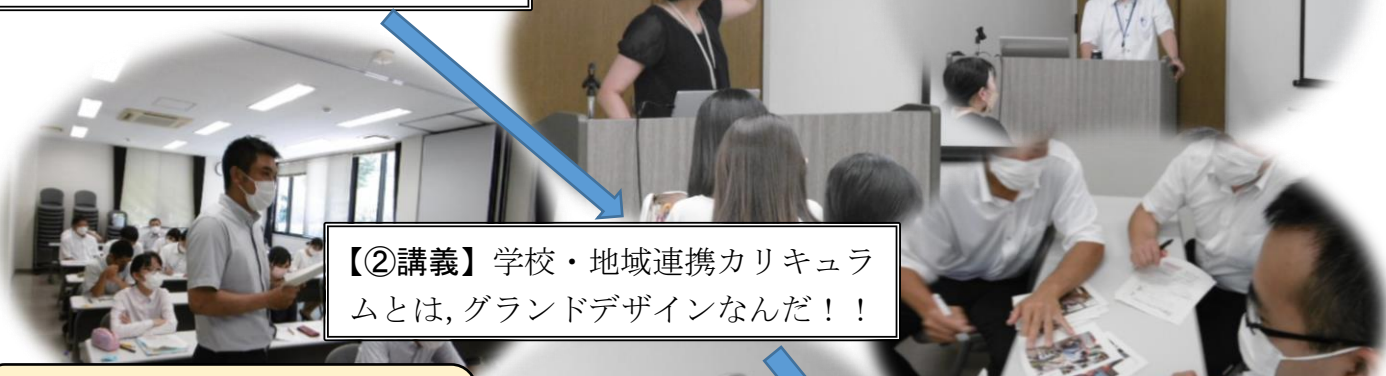
「地域連携教育とは 何か」を、自分の言葉で、30字以内で、3分以内に答えなさいって言われても…

地域連携教育とは、『学校と地域(住民)が、活動を共にする中で、一緒に子供の成長を喜ぶもの』ですね。



指導者も、社会全体で子供を育てる 必要性を強調しました。

【①講義と演習】 地域連携教育とは、子供の成長に有効な営みだ



【②講義】 学校・地域連携カリキュラムとは、グランドデザインなんだ！！

活動することによって、子供に育まれる資質や能力をグループで話し合い、積極的に発表しました。

複数の活動写真を、クイズ形式で、学校支援・まちづくり等6つの仲間に分けました。

【③ 情報交換と協議】 他校も本校も、子供の為の地域学校協働活動をやっているんだな！！

持続可能な 地域学校協働活動にするための ポイント

- ・無理・無駄・遠慮のない 楽しい活動
- ・計画は綿密に、実践は大胆に＜子供中心に＞
- ・一人でしようとしなくてゆるいつながりを生かす＞

自校の地域学校協働活動を 資料を基に説明し合い、良さや課題を活発に話し合いました。

【④振り返り】 教科、特別活動など教育課程の中から、自分にできる地域連携教育を、進めていこう！